

茨城県 育成会だより

第 157 号

発行日 令和 7 年 12 月 10 日
発行 一般社団法人
茨城県手をつなぐ育成会
編集 広報委員会
事務局 〒310-0851 水戸市千波町 1918
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内
☎ 029-243-3838
FAX 029-243-3854
URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



遠足 成田ゆめ牧場



調理実習 昼食作り



反射板の組立て作業



クラブ活動 公園へお散歩

連絡先：常総市水海道森下町4529-1
電話：0297-44-7290

いつでも見学や体験を行うことができますので、お気軽にご連絡ください。

得意なこと、苦手なこと、人それぞれあると思いますが、皆で支え合い一人一人が働くことに喜びをもつて通所することができ、地域社会の中で自立した生活を送ることができるよう支援を続けていきたいです。

家族同士の交流の場にもなり、親子で楽しんでもらえる時間となっています。

特定非営利活動法人 鱸づな会 は平成20年に設立し、つくば市で「ひまわり学園」を開設、平成22年には常総市で「ひまわり学園水海道」を開設しました。就労継続支援B型を運営しており、反射板の組み立て、タオルの数え、プラスチック部品の検品・袋入れ等色々な作業を行っています。令和7年2月からは施設外就労が始まり、外部の方と関わる機会や工賃が増え、利用者さんのやる気もアップしています。

作業だけでなくクラブ活動やイベントも行っており、利用者さんが楽しく通所を継続していけるような内容を考えています。体を動かす機会が減っている為、クラブ活動ではなるべく散歩や運動を取り入れるよう心掛けています。イベントでは、お花見や昼食外出など楽しく参加できるものや、調理実習など利用者さんの生活に役立てるような取り組みも行っています。少しでも家事に興味を持ち「自分にもできるのだ」と自信を持ってくれたら嬉しいですね。また、年3回つくば事業所と合同で行う大きなイベントがあります。他事業所の利用者さんや職員、ご家族同士の交流の場にもなり、親子で楽しんでもらえる時間となっています。

特定非営利活動法人 鱸づな会 とも ひまわり学園水海道
施設長 清水 麻美



この印刷物は共同募金配分金が使われています

「創立70周年記念第10回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会東京大会/本人大会について」

茨城県手をつなぐ育成会 常務理事兼事務局長 阿部 勇司



令和7年11月9日（日）、東京都大田区の日本工学院アリーナにおいて、「創立70周年記念第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会/本人大会」が秋篠宮家の佳子内親王殿下のご臨席を仰ぎ、盛大に開催されました。記念式典には2000人を超える方々が参加され、本県からは、永井会長をはじめ約80名の会員が参加しました。今大会のスロー

ガンは、「ともに生きる社会を目指して」で、大会会長あいさつの後、全育連会長表彰が行われ、茨城県手をつなぐ育成会元理事の大久保淑子さん（東海村心身障がい児者親の会理事）が長年にわたる育成会での熱心な活動や地元東海村での障害者の生活支援に尽力された功績などが高く評価され、表彰状を受賞されました。

佳子さまは、おことばの中で、「社会全体で、みんなが共に生きる社会を目指すことが大切です。知的障害者に対する理解がさらに広がり、すべての人が安心して暮らすことができる社会になることを願っています。」と述べられました。また、来賓の内閣府特命担当大臣、法務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、東京都知事から祝辞がありました。

その後、育成会大会宣言と本人大会宣言が決議され、休憩をはさんで行われた記念講演では、映画監督の和島香太郎さんと植草学園大学副学長の野澤和弘さんの対談が行われました。和島監督からは、映画「梅切らぬバカ」のストーリーや背景をひもときながら、親子、家庭、暮らし、福祉について、主演の加賀まりこさんとの楽しいエピソードを交えたお話を聞くことができ、会場の参加者にとって、とても有意義な講演となりました。

なお、来年度の第11回全国大会は、兵庫県神戸市で開催されます。

創立70周年記念第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会

令和7年11月8日（土）～9日（日） 東京都大田区日本工学院

全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰

大久保 淑子様（一般社団法人 茨城県手をつなぐ育成会・元理事 東海村心身障がい児者親の会理事）



会場入口



大会式典の後

本人大会に参加して

本人活動委員会委員長 清水 学



発表の伊藤氏

ワークショップの体験を通して、仲間とつながろう)でした。明星大学教授吉川かおり先生のシンポジウムを受けたり、本人活動副委員長・NPO 法人北茨城市手をつなぐ育成会青年部伊藤広也さんの体験談発表を聞いたりしました。

私は、途中各分科会の視察に行き、第2分科会ワークショップ「私たちのリアル」をテーマに楽しいこと、困ったことを話し合い気持ちを伝え合おうを見学したり第3分科会「親・兄弟姉妹」私たちの未来・家族も一緒に考えようのテーマで、講師(親なきあと)相談室主宰・世田谷区手をつなぐ親の会会長・行政書士・社会保険労務士の渡部伸さんの講演を聞いて、「ひとりでは、日常生活に不安ある人が、地域で安心してらせるようにサポート」と「困った時は誰かに相談する・なるべくたくさんさんの知り合いをつくる・つながりがあれば・いざという時にもなんとかなる」と語りあって、とてもいい勉強になりました。

そのほかに第4分科会は、「アクティビティみんな元気を分かち合おう」とダンスショーサークルをしようのテーマで、最後に第5分科会は、観光(バスツアー)AコースとBコースに分れて、①上野動物園見学とソラマチの散策②東京スカイツリー天望デッキとソラマチの散策の日程で、観光案内でした。



第1分科会支援者・本人部会

安心して暮らすことができる社会になることを願っています」と述べられました。

そのあと休憩をはさんで、日本工学院専門学校地下1階大講義室に移動後午前11時20分ごろから午後1時ごろまで本人全大会にも参加し伊藤広也さんが閉会の言葉をつとめました。

これからも2年後の関ブロ茨城大会をめざして、みなさんの意見や協力をえながらもりあげたいと思っています。

今回、NPO 法人北茨城市手をつなぐ育成会から鈴木胖会長を始め青年部9人支援員2人と水戸市手をつなぐ育成会から本人、親、支援員3人の計15人で、会場の日本工学院専門学校蒲田キャンパス3号館に行きました。

受付をして、キャンパス内見学しながらお弁当をもらいお昼を食べたりしました。

午後1時ころから本人大会第1分科会に参加して、今回のテーマ「仲間づくり」(はじめの一步をふみだそう・



本人部会支援者

夜18時から川崎日航ホテルにて懇親会に参加し食事会をしました。

そのあと川崎駅前の東横インホテルに宿泊をして、休めました。

翌日も蒲田にもどり午前10時から10時50分ころまで日本工学院アリーナで、創立70周年記念式典に出席し当日は、秋篠宮家の次女佳子さまや小池百合子都知事などが出席され、佳子さまのおことば「知的障害に対する理解がさらに広がり全ての人が



大会会場入口

地域に溶け込む“新しい福祉”のかたち—Seamless Support Labs原宿を訪ねて

研修委員長 嶋田 みち子

7月18日（金）、研修委員会の内部研修として、私たち委員は「Seamless Support Labs（シームレス サポート ラボ）原宿」を訪問しました。社会福祉法人睦月会が運営するこの施設では、綿理事長にご案内いただき、施設の概要や運営の理念についてお話を伺いました。

本施設は、渋谷区が総工費 27 億円をかけて整備し、睦月会が指定管理を受けて運営しています。JR 原宿駅から徒歩約 10 分の場所にあり、

1 階にはカフェやクリニックも併設されています。5 階建ての建物では児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、短期入所、機能訓練などを展開し、未就学期から高齢期まで切れ目のない支援を行っています。まさに「Seamless Support = 途切れのない支援」という名にふさわしい施設でした。



カフェ



集合写真

見学を通して感じたのは、福祉の新しいかたちがここにあるということです。まず印象的だったのは、建物のどこにも「障害」や「福祉」といった言葉が見当たらなかったことです。ビル全体が福祉施設であるにもかかわらず、街の景観に自然に溶け込み、誰もが気軽に訪れることが出来る開かれた空間でした。理事長が目指されている「地域の中で当たり前生きる」という理念を、まさに体現している場所だと感じました。

また、福祉分野では人手不足が全国的な課題とされていますが、ここでは若い職員が多く、生き生きと働いていました。プールや機能訓練室など、利用者に加えて職員も利用できる設備が整い、働く人の健康やリフレッシュに配慮した環境が整っていました。こうした法人の「人を大切にする姿勢」が、若手人材の定着や活気ある職場づくりにつながっているように感じました。

原宿という都会にありながら、ここには地域と人がつながる温かい空間が広がっていました。障害のある人もそうでない人も地域の中でともに生きる姿を目にし、改めて「誰もが自分らしく過ごせる社会」を目指す大切さを実感しました。



施設全景

令和7年10月研修会報告書 講演タイトル:「障害のある方の性について」

講師:一般社団法人 輝き製作所 小西理恵氏
開催日:2025年10月9日(木)

研修委員会 櫻井 詩子

10月9日、「障害のある方の性について」と題した講演会が開催され、一般社団法人輝き製作所の小西理恵氏を講師に迎え、お話を伺った。小西氏はかつて風俗業界で働いていた経験から、自分たちの「あたりまえ」が必ずしも他の人にとっての「あたりまえ」ではないと気づき、障害のある方を対象とした活動を始められたという。

小西氏によれば、「性」とは「いやらしいこと」や「セックス」だけを意味するのではなく、身だしなみを整えること、自分の体や心を理解すること、排泄やトイレのマナー、ジェンダー、人との距離感など、日常生活にかかわる幅広いテーマを含むものである。また、障害のある方を「一人の社会に関わる人」として尊重し、個々の違いを理解することを最も大切にしていると語った。知的障害がある方であっても、年齢に応じたかかわりを受けられていない現状があることにも触れ、教育現場での性教育の難しさと必要性を訴えた。



講師紹介



講話



研修会会場

講演を通して、性に関する理解はすべての人に必要であり、自分の体や心を自分で守り、判断できるようにすることの大切さを改めて感じた。私自身、30代の息子を持つ親として、特に学齢期や思春期前のお子さんを育てる保護者にこそ聞いてほしい内容だと感じた。体の清潔を保ち、異性との距離を適切にとること、そして親が子供の年齢に合った対応を心がけることが大切であると改めて考えさせられた。小西氏の言葉一つ一つが、支援のあり方や家庭でのかかわりを見直す貴重な機会となった。



茨城県障害者福祉の集い

常陸大宮市手をつなぐ育成会会長 露久保 真依子

令和7年（2025）10月16日、常陸大宮市文化センター ロゼホールにて、『茨城県障害者福祉の集い』が開催されました。「僕の宝物」と題して、東京2020パラリンピックシッティングバレーボール日本代表の嵯峨根望氏（38歳）による講演が行われました。

先天性四肢障害児（右大腿欠損、左下腿欠損、両手機能障害）として生まれた嵯峨根氏はまず、ご自身の左の義足を外し「僕の宝物は、義足ではなく、みなさんと違うこの足です。」とのことでした。

幼少期は、足がない他の人と違う自分のことが「かっこいい！スーパーマンみたい」と思っていたのですが、小学生になると周りの目を気にするようになり、障がいを隠すようになったとのことでした。

そのような中、中学2年生になった夏休みに友だちの家に泊まりに行った時、義足をつけたまま寝ようとしたのですが、暑さに耐えられず、義足を外してよいか聞いたところ、「やっとなんて見せてくれるんやなあ」と友だちに言われて、障がいは隠さなくていいんだ。みんな受け入れてくれるだ。隠さないといけないと思ったのは自分だけなんだ。と気持ちに変化が現れたそうです。その後も、友だちとの関係は続き、高校では

学業だけではなく、アルバイトも経験し、大学に入り、シッティングバレーボールチームに入団され、東京2020パラリンピックに出場するという貴重な経験をされたそうです。たくさんの人との出会いの中で、障がいを受け入れていく経緯を明るく話してくれました。

現在は、結婚され2人のお子さんの父親となり、同じ障がいを持つ女の子が生まれましたが、自身と同じくスーパーウーマンに育てようと、お子さんの全てを受け入れて子育てを楽しんでいるそうです。

また、講演活動のほか、YouTube（サガネットTV）を開設し、障がいがあってもなんでも挑戦する姿を発信しているそうです。



会場風景



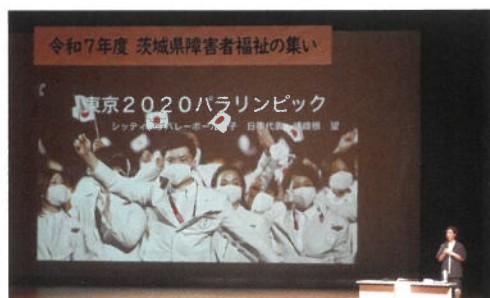
講師 嵯峨根望氏



講師



幼少期



パラリンピック出場

グルメ

「ばく to Pan」は、結城市にある社会福祉法人希望会の就労継続支援 B 型です。チャレンジカップ 2025 ～障がいを持つ方の製パン日本一を決める大会で、「アーモンド香るフルーツたっぷり結いロール」が金賞を受賞しました。

「結い」は「協力・助け合い」を意味し、ペストリー生地を仕込む飯泉良平さん、フルーツたっぷりのバターケーキを作る塚田結花さん、フィナンシェを焼く増山彩花さんがそれぞれの得意分野で分担作業で作ります。

大会の一週間前から体調管理をし、普段使っている機械とは違い、戸惑いながらも制限時間内で作り上げ、受賞する事が出来ました。

増山彩花さんのお母様の美幸さんは一緒に働いています。今回の受賞を大変喜ばれ、子供の成長が見られて良かったと話されました。

「結いロール」は、発酵バター香るデニッシュにフルーツたっぷりのバターケーキフィナンシェを組み合わせた特別なパンです。

1 個 300 円で販売しています。



住 所 結城市結城 6042-2
電 話 0296-32-3650
営業時間 午前 9 時 30 分～
午後 5 時 30 分
土曜日は 5 時まで
定 休 日 日曜日

生活

「Koti」は、結城市にある障害のある方でも優しくカットしてくれる美容室です。

オーナーは、宇都宮の同じ美容室で働いていた佐藤康玄さんと奥様の真弓さん。お店を構える前にご主人は結城の美容室で、奥様は宇都宮の美容室でそれぞれ修業をし 2016 年 8 月にオープンしました。

店名の「コティ」は、フィンランド語の「家」で自分の家のように寛げるように、帰って来られる場所という思いがあるそうです。

障害を一つの個性と捉え、ひとりでも困っている人がいれば力になればと無理する事なく少しずつカット出来るように待つそうです。個人店だから出来る事で、出来る事がふえるお客様を見られるのが喜びだそうです。

お客様には、特別支援学校の児童、生徒や家族の人、口コミで隣町の栃木県小山市や筑西市の方も来られます。

今後は、お店に来られない方のために訪問美容をやっていききたいとの事です。



住 所 結城市新福寺 4-8-1
電 話 0296-21-2272
営業時間 午前 9 時～午後 7 時
定 休 日 毎週月曜日、
第 1・第 3 日曜日

令和8年（2026） 1月からの行事予定

月	日（曜日）	行 事 予 定
1月	6日（火）	広報委員会（団体会議室）
	14日（水）	関プロ連絡協議会代表者会議（オンライン）
	26日（月）	関プロ茨城大会実行委員会（小研修室A）
	27日（火）	研修委員会（小研修室A）
2月	4日（水）	広報委員会（小研修室B）
	6日（金）	権利擁護センター関係機関連絡会（中研修室）
	12日（木）	広報委員会（団体会議室）

月	日（曜日）	行 事 予 定
2月	18日（水）	広報委員会（団体会議室）
	25日（水）	総務委員会（小研修室A）
	27日（金）	広報委員会（団体会議室）
3月		関プロ連絡協議会代表者会議（オンライン）
		全国育成会フォーラム・行政説明会
		全育連・全国育成会代表者・事務局長会議
	17日（火）	第3回理事会（中研修室）

第10回全国手をつなぐ育成会連合会 全国東京大会本人大会 特集（2025.11.8～9）



会場内サロン



肉グループ



すしグループ



肉グループ



第1分科会会場



スパゲッティグループ

編集後記

次女は重度の知的障がいと自閉スペクトラム症があり、療育手帳は㊤です。晩秋、水戸市西部基幹相談支援センターの相談員による「行動変容アセスメント」で隣室への迷惑行為（不適切行動）が改善されました。今は「代替行動」を見つけるため、相談員とさまざまな方法を試しています。この経験から、専門職による支援の重要性を再認識しました。家族だけでは難しい課題も、周囲と協力して娘の成長と生活の質向上に取り組んでいきます。

（水戸手をつなぐ育成会 会長 田口美博）